『まゆとブカブカブーーやまんばのむすめ まゆのおはなしー』2001年／福音館書店

『めっきらもっきら どおん どん』1985年／福音館書店

特別展 絵本作家

降矢ななの原画展

NANA FURIYA

2024.6.22(土)▸8.25(日)

開館時間 9:30～17:00（入場は16:30まで） 夜間開館 7月19日(金)17:30～21:00（入場は20:30まで）

休館日 月曜休館 ただし、7月15日、8月12日は開館し、7月16日(火)、8月13日(火)は休館。

観覧料 一般 700(550)円、65歳以上・高大生 450(350)円、小中生 300(200)円

＊(　)内は10名以上の団体料金
＊学校の教育活動の一環として観覧する小中高生と引率者、身体障害者手帳などをお持ちの方と引率者などは観覧無料となります。詳細は文学館までお問い合わせください。

中島公園 HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館 特別展示室

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
tel.011(511)7655　https://www.h-bungaku.or.jp/

主　　催：北海道立文学館、公益財団法人北海道文学館（北海道立文学館指定管理者）、北海道新聞社
特別協力：降矢なな
後　　援：札幌市、札幌市教育委員会、駐日スロバキア共和国大使館、日本国際児童図書評議会（JBBY）
協　　力：絵本学会、福音館書店、偕成社、童心社、のら書店、グランまま社、BL出版、札幌第一こどものとも社・ろばのこ、ちいさなえほんや ひだまり、さっぽろ天神山アートスタジオ
企画制作：株式会社MIMOseele

『ともだちごっこ』2010年／偕成社

『どうぶつABCえほん』2019年／のら書店

『きょだいな きょだいな』1988年／福音館書店

特別展 絵本作家

降矢ななの原画展

NANA FURIYA

降矢なな（ふりや・なな）は、スロバキア共和国在住の絵本作家。「やまんばのむすめ まゆのおはなし」シリーズ（富安陽子文、福音館書店）や「おれたち、ともだち！」シリーズ（内田麟太郎作、偕成社）など、絵本作家としてデビューしてから約40年、ほぼ毎年新作を発表し、多くの絵本や児童書の挿絵で活躍し続けています。

ダイナミックな線と構図、明快な色彩…作品ごとに画材や技法を使いわけ、物語にふさわしい表現を駆使して子どもたちが絵本の世界であそび、夢中になれる工夫を凝らしています。

本展では、降矢の手がけた15作品・約190点の原画を絵本・児童書と共に紹介します。魅力あふれる絵本の世界をお楽しみください。

第1章 はじまりの絵本 絵本作家　降矢なな誕生

デビュー作『めっきらもっきら どおん どん』を含めた、初期ロングセラー3作の原画を紹介します。

1

第2章 旅だち ドゥシャン・カーライとの出会い

のちに恩師となる絵本作家・ドゥシャン・カーライによる作品との出会いは、降矢に転機をもたらしました。スロバキア留学前に制作された『たびにでよう』や、移住後の作品『ナミチカのきのこがり』などの作品を紹介します。

2

第3章 絵本ができるまで

絵本制作は、一人が絵と文両方作る場合もありますが、多くは文を書く人・絵を描く人・編集する人たちが力を合わせて1冊の絵本を作り上げています。「物語を伝える」ために降矢が凝らした工夫や試行錯誤を、原画を通して紹介します。

3

第4章 広がる絵本世界

降矢の、歳月をかけて培われてきた確かな技術と、子どもたちを楽しませることへの探究心を、「おれたち、ともだち！」シリーズなどのユーモアあふれる原画を通して紹介します。

4

5

降矢 なな
Nana Furiya

1961年東京生まれ。1985年『めっきらもっきら どおん どん』（長谷川摂子作、福音館書店）で絵本作家デビュー。1992年スロバキア共和国のブラチスラバ美術大学に留学し、画家・絵本作家であるドゥシャン・カーライに師事。

6

1『めっきらもっきら どおん どん』1985年／福音館書店
2『ナミチカのきのこがり』2010年／童心社
3『はるのひるねうた』2023年／福音館書店
4『いそっぷのおはなし』2009年／グランまま社
5『めっきらもっきら どおん どん』1985年／福音館書店
6『チェコのむかしばなし ヴォドニークの水の館』2021年／BL出版

会期中のイベント

■講演会「絵本 ～絵とテキストの関係～」
日時 6月29日（土）14:00～15:30
会場 当館講堂 無料
講師 降矢なな（絵本作家）
定員 50名（要申込、先着順）
6月14日（金）9:00～電話受付

各講演会後に、講師の先生によるサイン会を行います！
＊ミュージアムショップで書籍を購入した方、お一人様一冊まで。
＊定員50名
＊13:00～整理券配布

■講演会「本はふしぎへの扉」
日時 7月15日（月・祝）14:00～15:30
会場 当館講堂 無料
講師 富安陽子（児童文学作家）
定員 50名（要申込、先着順）6月28日（金）9:00～電話受付

■わくわくこどもランド「絵本の読み聞かせ」
降矢ななの作品を中心に読み聞かせを行います。
日時 7月7日（日）11:00～11:45
会場 当館講堂 無料
出演 読み聞かせボランティア
定員 50名（当日先着順）

■ナイトギャラリーツアー
カルチャーナイトに開催！ 展覧会の見どころについて、当館学芸員が案内します。
日時 7月19日（金）18:00～（約40分）
会場 特別展示室
案内 当館学芸員
定員 10名程度（当日先着順）
観覧券をお求めの上、特別展示室入口にお越しください。

■ギャラリーツアー
展覧会の見どころについて、当館学芸員が案内します。
日時 7月27日（土）11:00～（約40分）
会場 特別展示室
案内 当館学芸員
定員 10名程度（当日先着順）
観覧券をお求めの上、特別展示室入口にお越しください。

■読み聞かせとワークショップ「みんなの『きょだいな きょだいな』なんだろな」
もし、身の回りのものが“きょだい”だったら…？？
絵や貼り絵で表現しよう！
日時 8月10日（土）①11:00～12:00 ②14:00～15:00
会場 当館講堂 無料
講師 当館学芸員
定員 各回10組（要申込、先着順）7月26日（金）9:00～電話受付
＊小学生以下（保護者同伴）が対象

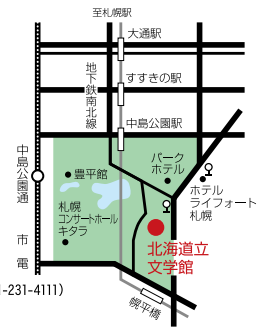
■みどころ解説講座
展覧会の見どころについて、当館学芸員が解説します。
日時 8月18日（日）14:00～15:00
会場 当館講堂 無料
講師 当館学芸員
定員 50名（要申込、先着順）8月2日（金）9:00～電話受付

●常設展のご案内／北海道の文学（通年開催）
北の大地に育まれた北海道の文学。自筆原稿や初版本など貴重な資料を展示。
観覧料：一般500（400）円、高大生250（200）円、65歳以上・中学生以下無料。
＊（　）内は10名以上の団体料金。高校生は土曜日無料。

●常設展・文学館アーカイブ「嗚呼 メレヨン島」
6月25日（火）～9月16日（月・祝）
ミクロネシア連邦ウォレアイ環礁（メレヨン島）。太平洋戦争時ここに駐留した兵士の飢餓の苦しみと望郷をテーマとした柿本胤二の絵画を紹介します。

◉次回・特別展のご案内
「氷室冴子の世界　ふくれっつらのヒロインたち」
9月7日（土）～11月10日（日）

北海道立文学館
〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4
■地下鉄南北線「中島公園駅（出口③）」または「幌平橋駅（出口①）」から徒歩6分
■市電「中島公園通」から徒歩10分
■JRバス「中島公園入口」から徒歩4分
お問い合わせ
TEL：011-511-7655
FAX：011-511-3266
https://www.h-bungaku.or.jp/
施設設置者・北海道教育委員会（教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課（代）011-231-4111）
指定管理者・公益財団法人北海道文学館



フェイスブック、X（旧ツイッター）でも情報発信中！